

兵庫県下の経済動向

平成24年4月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、足踏み状態が続いている。海外経済の減速等を背景に、輸出や生産はやや弱含んで推移している。一方で、個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善基調が続いている。この間、住宅投資は底打ち感が窺われている。設備投資は全体として持ち直している。公共投資は減少している。

こうした中、3月短観における管内企業の業況感は、若干改善した。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2か月連続で前年を上回った。乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車すべて増加し、全体では6か月連続で前年を上回った。家電販売は、スマートフォンは引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業は増加計画となっている。

住宅投資は、貸家が増加したものの、持家、分譲が減少し、全体では5か月ぶりに前年を下回った。

公共工事は、国、独立行政法人、その他の団体などが増加したものの、兵庫県、神戸市、神戸市を除く市町が減少したことから、16か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出が米国向けが増加したものの、EU、アジア向けが減少し、3か月連続で前年を下回った。また、輸入については16か月ぶりに前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、一般機械工業、化学工業、情報通信機械工業などの低下により2か月ぶりに低下した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数は前年を上回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数、金額とも前月および前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

1月の兵庫DIは、先行指数71.4%、一致指数77.8%、遅行指数75.0%となった。

1月の兵庫CIは、先行指数97.4、一致指数98.2、遅行指数108.1となった。

兵庫DIは、先行指数、一致指数、遅行指数がいずれも2か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月連続、一致指数が4か月連続、遅行指数が2か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は基調判断を「足踏み」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

2月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は97.7、前月比1.2%低下。出荷指数は95.4、同0.2%低下。在庫指数は127.8、同2.7%上昇。在庫率は130.2、同3.2%低下。生産指数は2か月ぶりに低下、出荷指数は2か月連続で低下、在庫指数は4か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が1.2%増で2か月連続で上昇、出荷は2.3%減で7か月ぶりに低下した。また在庫は16.3%増で20か月連続で上昇した。

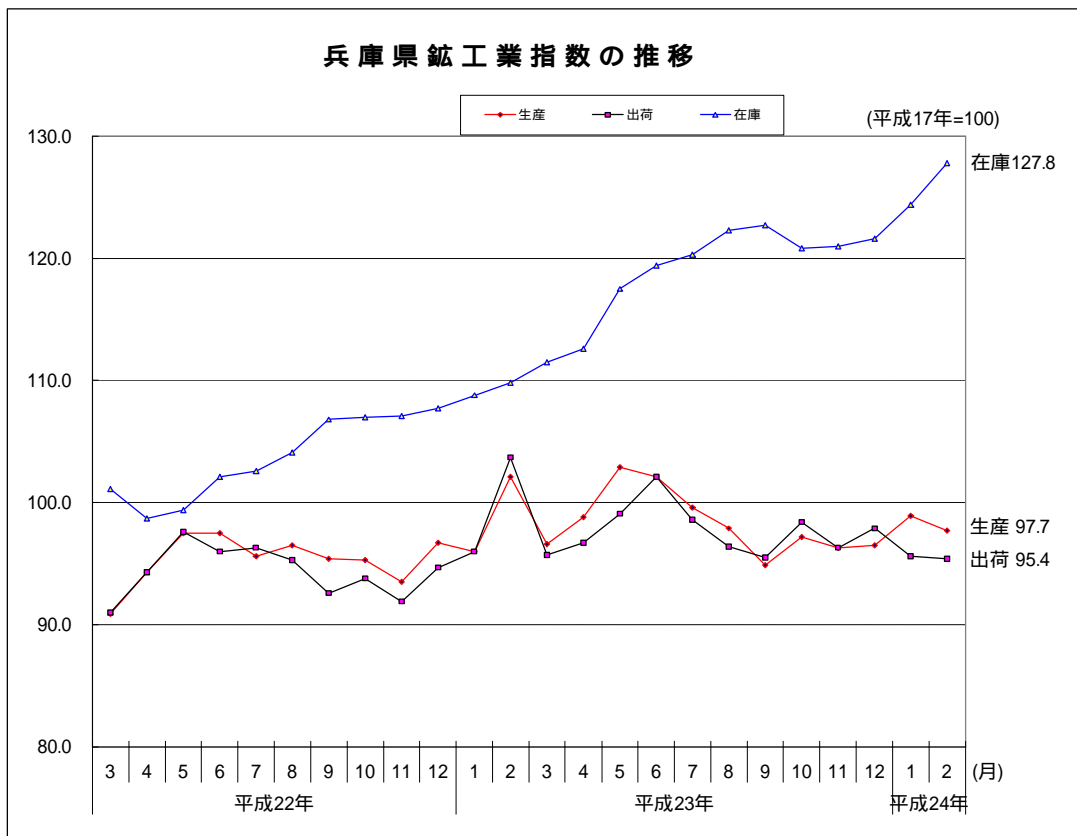
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、一般用タービン発電機等の「電気機械」が11.9%、PDPモジュール等の「電子部品・デバイス」が8.5%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が6.4%、鋼半製品等の「鉄鋼」が5.9%、ガス温風暖房機等の「金属製品」が4.6%、砂糖等の「食料品」が0.5%、各々上昇し、蒸気タービン部品等の「一般機械」が21.0%、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械」が6.0%、医薬品等の「化学」が4.7%、各々低下した。

県統計課は、「県内の生産活動は、横ばいで推移している」としている。

2月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数	対前月比増減(%)	原 指 数	
				対前年同月比増減(%)
生 産	97.7	1.2	98.1	1.2
出 荷	95.4	0.2	94.6	2.3
在 庫	127.8	2.7	131.1	16.3
在 庫 率	130.2	3.2	139.0	17.6

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



2月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	98.2	5.9	上昇	鋼半製品、粗鋼、普通鋼鋼管、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)
			低下	特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼熱間鋼管、ブリキ、H形鋼
金属製品	98.0	4.6	上昇	ガス温風暖房機、鋼管製管継手、石油温水給湯暖房機、鋼索
			低下	機械刃物、線ばね、PC鋼より線、金網
一般機械	102.8	21.0	上昇	蒸気タービン部品、ショベル系掘削機械、圧縮機、プラスチック加工機械
			低下	一般用蒸気タービン、熱交換機、プレイバックロボット、コンベヤ
電気機械	129.3	11.9	上昇	一般用タービン発電機、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、一般用エンジン発電機、電気がま
			低下	電力変換装置、内燃機関電装品、リチウムイオン蓄電池、HIDランプ
情報通信 機械	118.1	6.0	上昇	パーソナルコンピュータ、レーダ装置、搬送装置、カーオーディオ
			低下	陸上移動通信装置(携帯電話以外)、カーナビゲーション、モニター(電子計算機用)、無線位置測定装置
電子部品 デバイス	101.0	8.5	上昇	PDPモジュール、線形半導体集積回路、トランス(コイルを含む)、シリコントランジスタ(1W以上)
			低下	電界効果型トランジスタ、シリコンダイオード、モス型半導体集積回路(ロジック)、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)
輸送機械	89.4	6.4	上昇	船用ディーゼル機関、旅客車、懸架制動装置部品、鋼船
			低下	二輪自動車(125ml超)、ショベルトラック、特殊自動車、機関部品
化 学	85.4	4.7	上昇	医薬品、酢酸(99%換算)、複合肥料(化成肥料)、自動車排気ガス浄化用触媒
			低下	化粧品、無水酢酸、塩化ビニル樹脂、溶剤系合成樹脂塗料
食 料 品	92.3	0.5	上昇	砂糖、ビール類、パン類、しょうゆ
			低下	肉製品、清酒、精米、塩

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた3月の県内百貨店売上高は、前年同月比2.3%増の179億14百万円で、2か月連続で前年を上回った。

3月11日に営業を終了した神戸阪急のへ閉店セールが好調で、全体を押し上げた。東日本大震災後の買い控えの反動もあり、全体的に堅調だった。

神戸地区は2.6%増。神戸阪急がセールで、衣料品や家具などの家庭用品を大きく伸ばし、前年同月を31.8%上回った。神戸阪急を除いた店舗は、気温の低い日が続いたことからジャケットが売れるなど衣料品が堅調だった。春からの新生活向け催事の効果もあり、家庭用品が順調だった。

姫路・加古川地区は微増で、衣料品や家庭用品が前年同月を上回った。一方、美術品など雑貨は減少した。

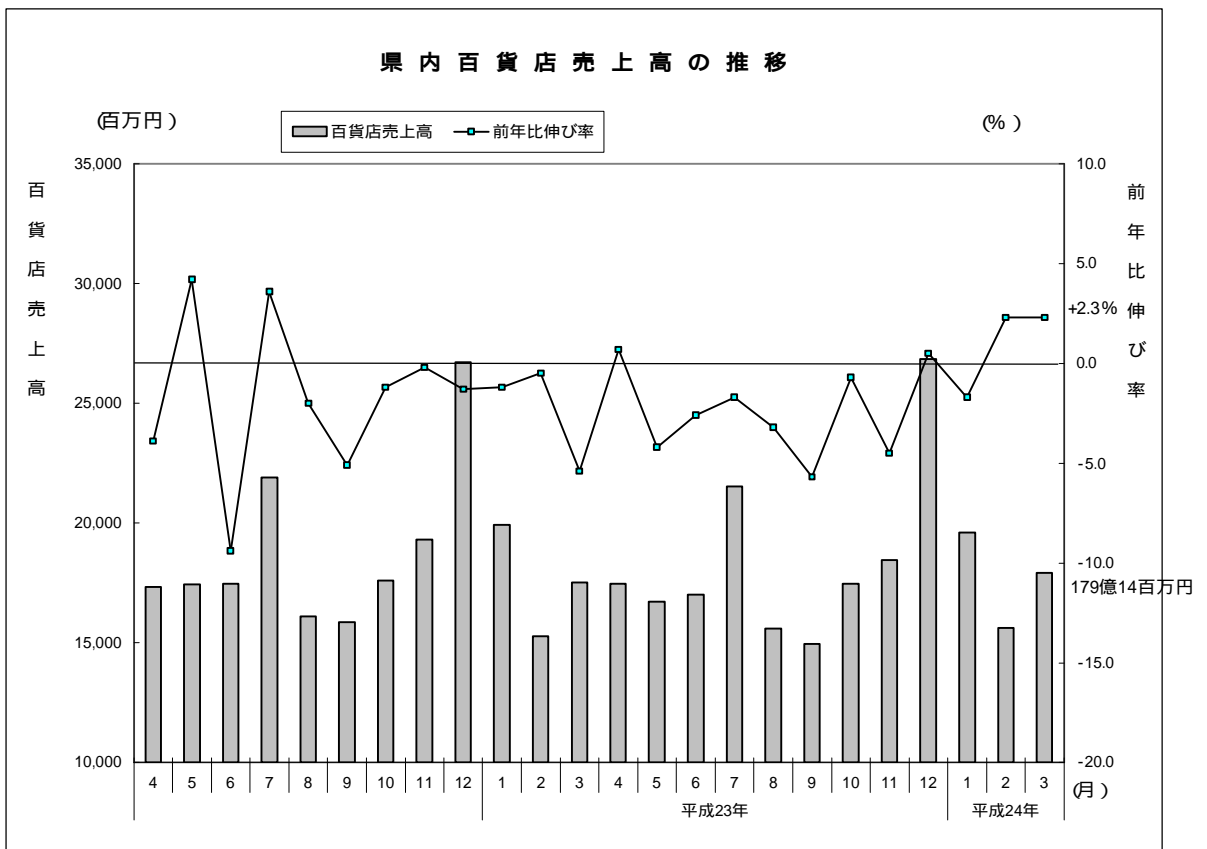
3月の県内百貨店売上高

品目	地区		
	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	762(9.1)	173(1.7)	935(7.6)
婦人服・洋品	4,503(8.6)	748(9.3)	5,252(8.7)
子供服・洋品	608(4.5)	131(7.9)	740(2.5)
身の回り品	1,674(10.3)	287(1.7)	1,961(9.0)
家庭用品	626(5.3)	160(2.5)	787(4.7)
食料品	4,063(3.4)	775(1.4)	4,839(3.1)
雑貨	1,971(4.3)	409(8.4)	2,380(5.0)
その他	737(3.9)	281(5.4)	1,018(1.2)
計	14,948(2.6)	2,966(0.7)	17,914(2.3)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内3月の乗用車新車登録台数は24,941台、前年同月比68.1%増と6か月連続で前年同月の実績を上回った。

3月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は9,250台(前年同月比69.4%増)、小型乗用車は9,049台(同70.1%増)、軽乗用車は6,642台(同63.5%増)、乗用車合計で24,941台(同68.1%増)となった。

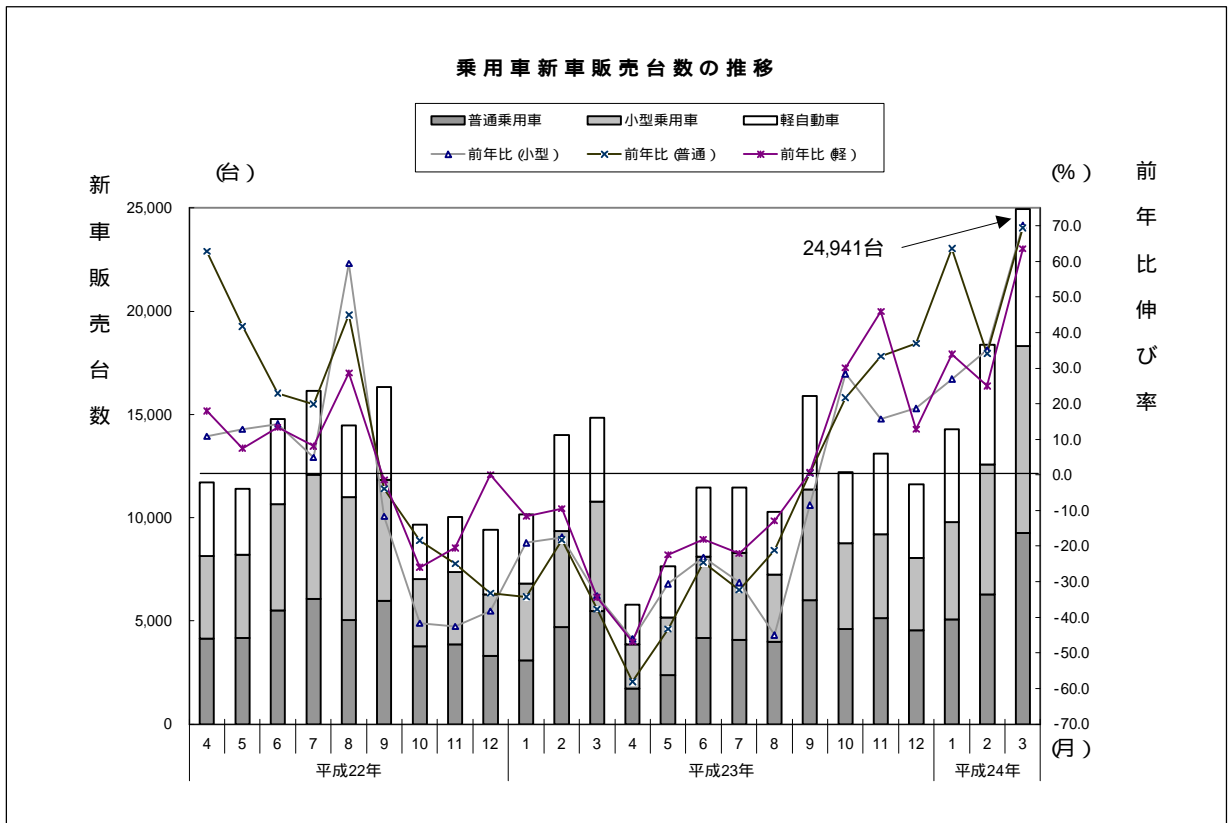
また貨物車等では、普通貨物車は582台(同34.1%増)、小型貨物車は923台(同39.8%増)、軽貨物車は1,992台(同35.1%増)、バスは54台(同8.0%増)となった。

3月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	9,250	69.4	208,783	88.6
小型乗用車	9,049	70.1	234,944	76.6
軽乗用車	6,642	63.5	197,189	64.6
乗用車合計	24,941	68.1	640,916	76.3
普通貨物車	582	34.1	21,519	47.8
小型貨物車	923	39.8	30,239	59.1
軽貨物車	1,992	35.1	56,737	47.7
貨物車合計	3,497	36.1	108,495	50.7
バス	54	8.0	2,474	21.5
登録車総計	28,492	63.2	751,885	71.8

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が4月11日に発表した機械受注統計によると、平成24年2月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、24年1月前月比21.6%増の後、2月は同14.5%減の2兆1,817億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、1月前月比3.4%増の後、2月は同4.8%増の7,940億円となった。

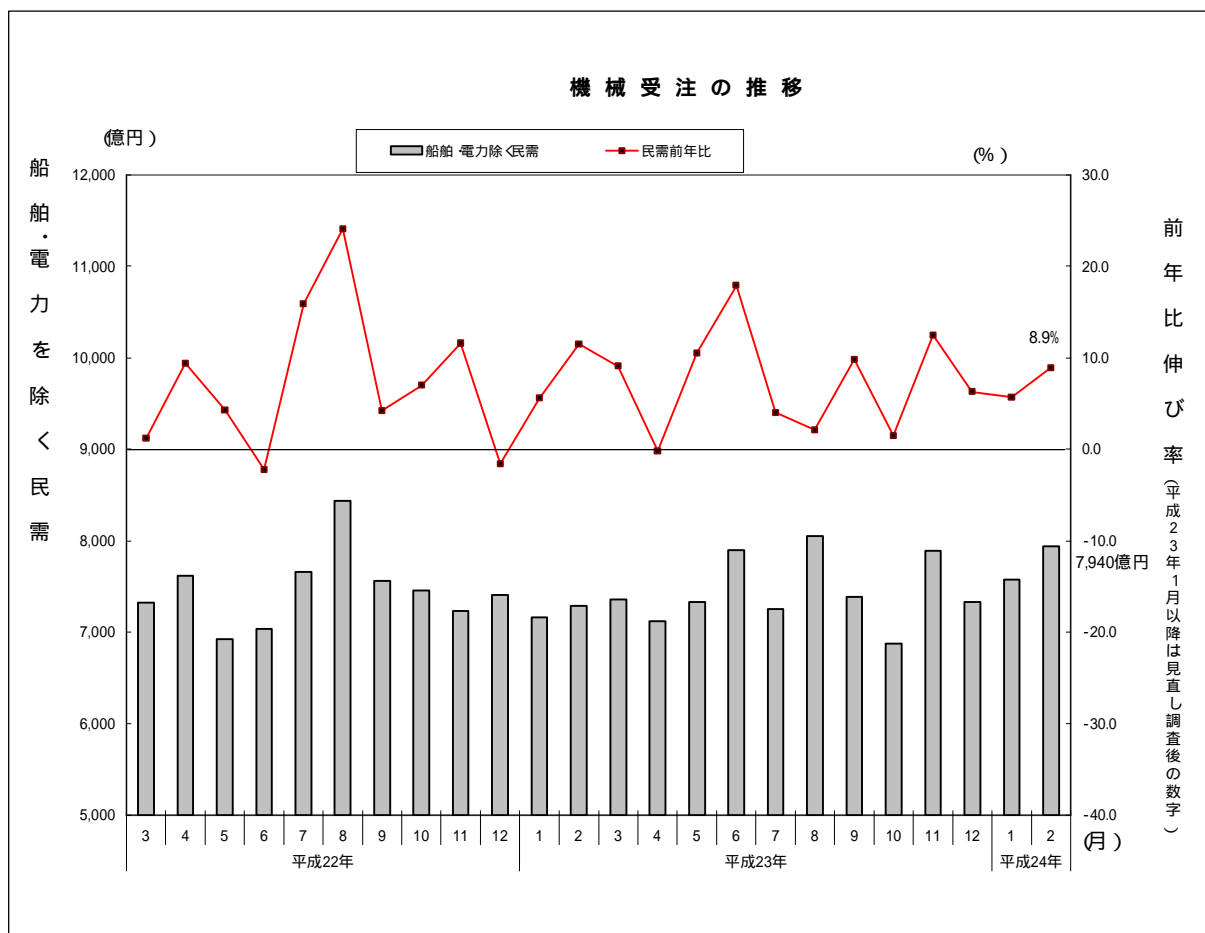
内訳をみると、製造業が同16.0%増の3,579億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同2.3%増の4,326億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、造船業(263.5%増) 化学工業(52.8%増) 食品製造業(40.4%増) 石油製品・石炭製品(34.7%増) 情報通信機械(17.7%増)等の8業種で、「その他輸送用機械」(51.1%減) 非鉄金属(42.0%減) パルプ・紙・紙加工品(29.0%減) 金属製品(19.9%減)等の7業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、運輸業・郵便業(24.4%増) 通信業(19.2%増) 金融業・保険業(14.4%増)等の4業種で、鉱業・採石業・砂利採取業(17.9%減) 農林漁業(11.0%減) リース業(5.7%減) 卸売業・小売業(4.0%減) 建設業(1.7%減)等の8業種は減少となった。

兵庫県下においては、2012年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2012年3月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+3.9%(製造業+13.6%、非製造業 26.1%)



機械受注統計（平成24年1月分）

	23年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 実績	24年 1~3月 見通し	23年 11月 実績	12月 実績	24年 1月 実績	2月 実績
受注総額	67,789 (10.1) [18.8]	61,253 (-9.6) [9.4]	57,557 (-6.0) [-2.5]	63,301 (10.0) [1.4]	69,569 (9.9) [8.1]	22,607 (14.7) [11.0]	20,979 (-7.2) [0.8]	25,519 (21.6) [9.8]	21,817 (-14.5) [-9.3]
民需	27,362 (3.0) [10.8]	27,926 (2.1) [15.4]	27,091 (-3.0) [3.6]	27,509 (1.5) [-0.3]	27,428 (-0.3) [3.2]	10,573 (21.5) [22.2]	8,230 (-22.2) [-15.7]	8,610 (4.6) [-2.9]	8,356 (-3.0) [-13.4]
〃 (Ex 船・電)	21,813 (5.6) [8.9]	22,351 (2.5) [9.8]	22,687 (1.5) [5.8]	22,095 (-2.6) [6.7]	22,593 (2.3) [4.3]	7,889 (14.8) [12.5]	7,332 (-7.1) [6.3]	7,578 (3.4) [5.7]	7,940 (4.8) [8.9]
製造業	9,807 (5.3) [16.3]	9,783 (-0.2) [17.2]	10,032 (2.5) [4.4]	9,753 (-2.8) [4.1]	10,015 (2.7) [1.6]	3,382 (4.7) [7.1]	3,142 (-7.1) [3.0]	3,085 (-1.8) [-0.6]	3,579 (16.0) [6.7]
非製造業 (Ex 船・電)	11,761 (1.4) [3.5]	12,344 (5.0) [4.2]	12,965 (5.0) [7.2]	12,666 (-2.3) [8.6]	12,772 (0.8) [9.1]	4,395 (6.2) [16.0]	4,131 (-6.0) [9.0]	4,227 (2.3) [11.7]	4,326 (2.3) [10.8]
官公需	6,310 (-6.0) [-10.8]	6,365 (0.9) [-6.9]	6,077 (-4.5) [-11.0]	6,787 (11.7) [1.0]	7,889 (16.2) [17.8]	1,905 (-5.3) [-17.1]	2,871 (50.7) [33.7]	2,363 (-17.7) [16.2]	2,190 (-7.3) [-2.5]
外需	28,817 (13.3) [43.1]	25,038 (-13.1) [7.1]	23,708 (-5.3) [-6.8]	25,805 (8.8) [1.9]	31,955 (23.8) [11.0]	8,937 (20.3) [8.0]	9,437 (5.6) [12.6]	11,339 (20.1) [18.3]	9,260 (-18.3) [-9.0]
代理店	2,512 (7.9) [12.3]	2,588 (3.0) [7.8]	2,331 (-9.9) [-2.0]	2,706 (16.1) [15.7]	3,119 (15.3) [26.8]	895 (0.6) [10.7]	921 (3.0) [16.6]	898 (-2.5) [8.2]	950 (5.7) [14.8]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内2月の新設住宅着工戸数は、総数で2,314戸(前年同月比11.5%減)となり、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少し、全体では5か月ぶりに前年を下回った。また、前月比では509戸の減少となった。

2月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	766	11.1	22,462	1.5
・分譲住宅	759	30.2	21,308	13.1
貸家系・貸家	788	18.5	22,798	9.4
・給与住宅	1	-	360	18.6
総数	2,314	11.5	66,928	7.5

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

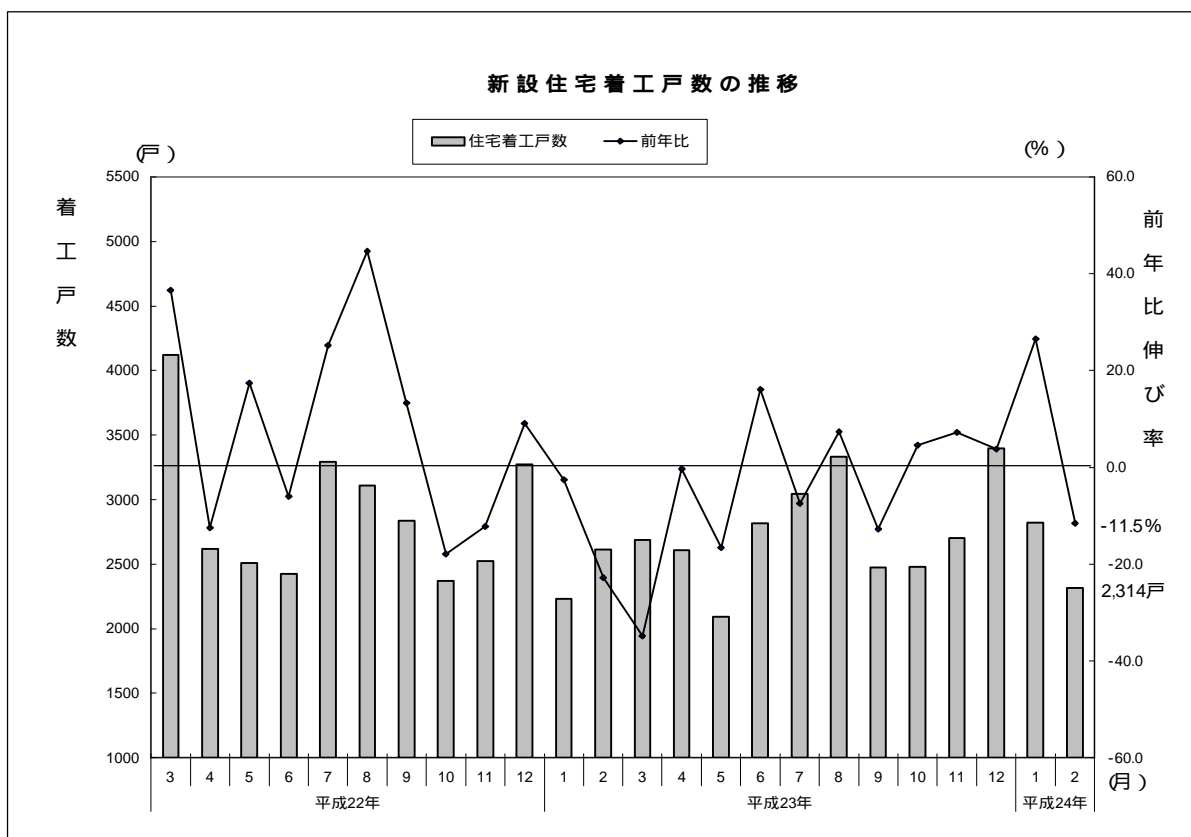
2月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	740	490	251	337	111	214	66	34	17	54	2,314
前月比	-33	-136	-136	-73	46	-183	-29	12	3	20	-509

資料：兵庫県住宅計画課

平成23年4月～平成24年2月の新設住宅着工累計は、総数で30,090戸、前年同期比285戸の増加となった。利用関係別では「持家」が9,974戸(前年同期比4.2%減)、「分譲住宅」が11,066戸(同19.5%増)、「貸家」が8,874戸(同9.8%減)、「給与住宅」が176戸(同41.3%減)となった。



【公共工事】

3月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は452件で前年同月比5.8%の減少、請負金額は250億55百万円で同27.6%の減少となり、金額ベースでは16か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「その他の団体」が前年同月比107.3%、「独立行政法人等」同49.7%、「国」同21.5%の増加となったものの、「神戸市を除く市町」同66.6%、「神戸市」同55.8%、「兵庫県」同21.3%の減少となり、前年同月を下回った。

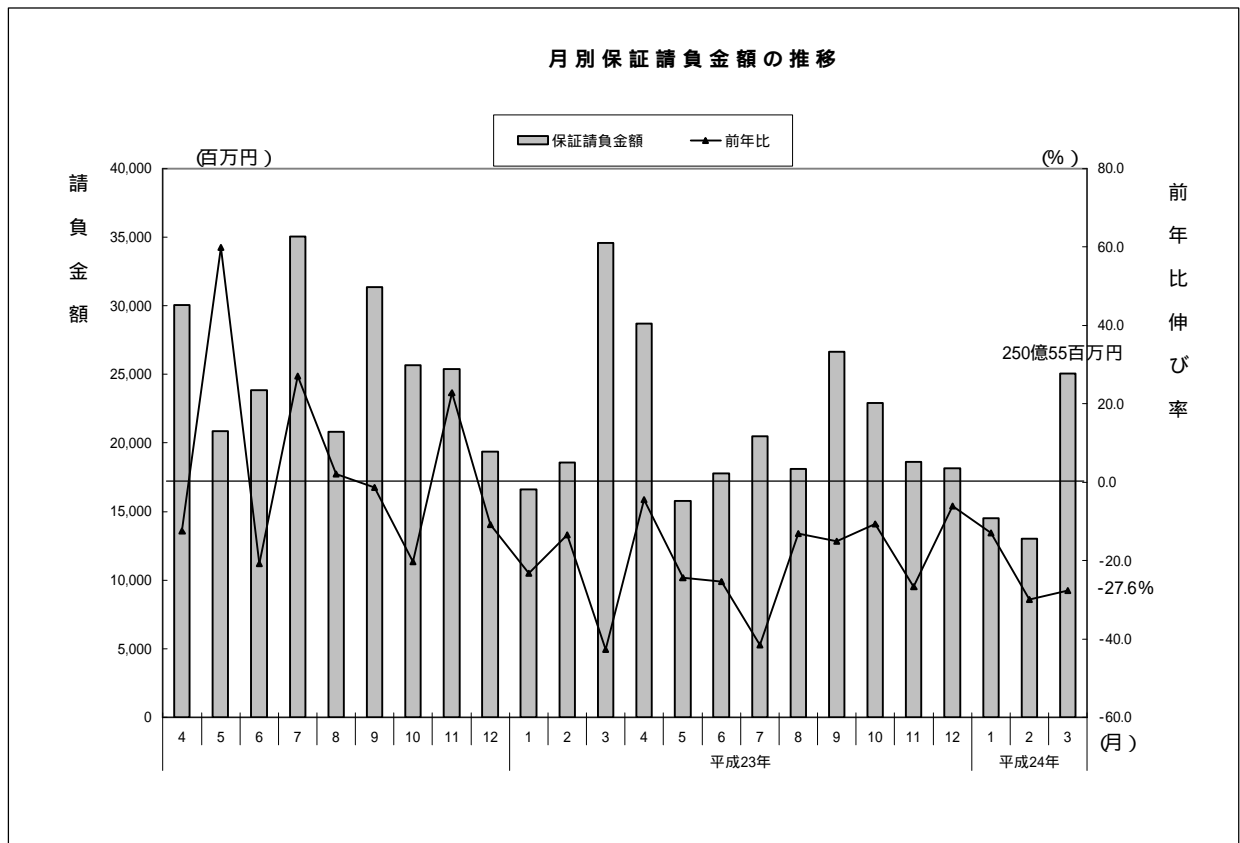
地域別(金額ベース)では、中播磨(前年同月比92.3%増)北播磨(同22.5%増)で増加、阪神南(同73.0%減)阪神北(同57.1%減)丹波(同42.6%減)東播磨(同30.6%減)神戸市(同30.5%減)西播磨(同25.7%減)淡路(同8.8%減)但馬(同4.8%減)で減少となった。

3月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	35(2.9)	4,880(21.5)	国道2号長田尻池電線共同溝他工事、和田山八鹿道路八鹿トンネル舗装工事
独立行政法人等	23(21.1)	2,556(49.7)	山陽自動車道広峰山他2トンネル照明設備更新工事
兵庫県	280(10.2)	10,885(21.3)	尼崎西宮芦屋港尼崎港区東浜第1排水機場改築工事、県営明石松が丘住宅第3期建築工事
神戸市	22(57.7)	2,237(55.8)	中突堤ポンプ場築造工事、新南駒栄ポンプ場築造工事その2
神戸市を除く市町	80(27.3)	3,108(66.6)	姫路市中部処理場中央監視設備改築工事
その他の団体	12(9.1)	1,377(107.3)	
合計	452(5.8)	25,055(27.6)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成24年2月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,169億円、前年同月比1.5%の減少で、総額ベースで3か月連続の減少となった。輸出は、船舶などが増加したものの、半導体等製造装置、半導体等電子部品などが減少した。一方、輸入は、たばこなどが増加したものの、音響・映像機器(含部品)、有機化合物などが減少した。

輸出は4,374億円(前年同月比1.9%減)と3か月連続で前年を下回った。

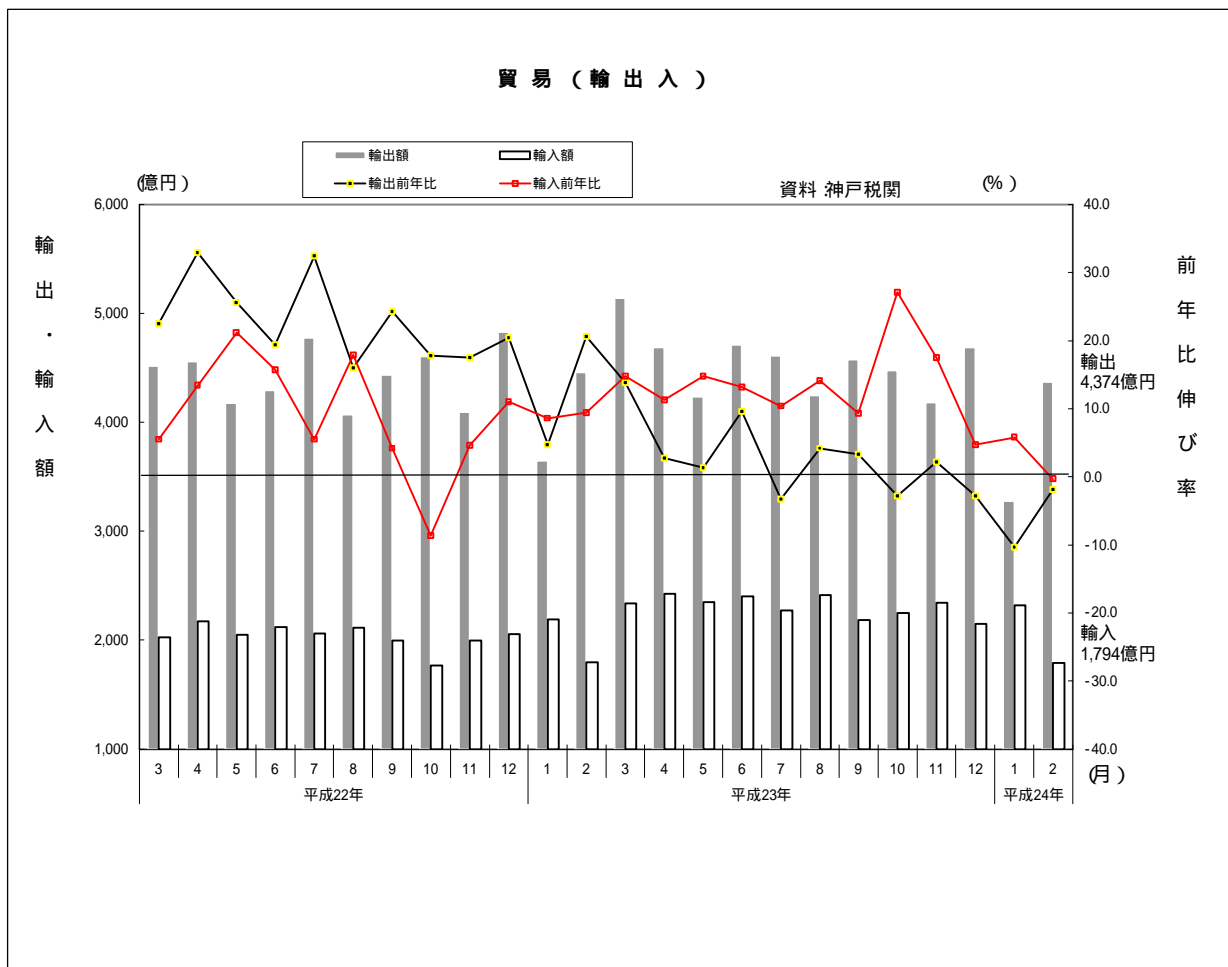
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比2.9%増、2か月連続プラス)、原動機(同6.0%増、2か月ぶりにプラス)が増加し、プラスチック(同17.4%減、8か月連続マイナス)、建設用・鉱山用機械(同4.6%減、6か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比15.0%増、2か月ぶりにプラス)向けが増加したものの、アジア(中国含む)(同6.4%減、5か月連続マイナス)、中国(同15.0%減、5か月連続マイナス)、EU(同14.0%減、2か月連続マイナス)向けがいずれも減少した。

輸入は1,794億円(前年同月比0.3%減)と16か月ぶりに前年を下回った。

主要品目では、衣類及び同附属品(前年同月比10.6%増、8か月連続プラス)、たばこ(同57.9%増、6か月連続プラス)が増加し、非鉄金属(同23.6%減、4か月連続マイナス)、有機化合物(同25.3%減、3か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比4.1%増、6か月連続プラス)が増加し、アジア(中国含む)(同5.6%減、16か月ぶりにマイナス)、中国(同15.7%減、10か月ぶりにマイナス)、米国(同7.2%減、2か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

3月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.4(平成22年=100)となり、前月比は0.3%上昇、前年同月比は0.7%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.1となり、前月比は0.5%上昇、前年同月比は0.4%上昇した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.5となり、前月比は0.4%上昇、前年同月比は0.2%下落した。

前月からの動きを見ると、医薬品・健康保持用摂取品の値下がりにより「保健医療」が0.1%下落した。しかしながら、衣料などの値上がりにより「被服及び履物」が3.4%、教養娯楽サービスなどの値上がりにより「教養娯楽」が1.1%、自動車等関係費などの値上がりにより「交通・通信」が0.5%、魚介類などの値上がりにより「食料」が0.2%、理美容用品などの値上がりにより「諸雑費」が0.4%、ガス代の値上がりにより「光熱・水道」が0.2%、家事雑費などの値上がりにより「家具・家事用品」が0.3%、それぞれ上昇した結果、総合では0.3%の上昇となった。

3月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.4	101.1	101.5	104.8	98.0	100.6	98.5	98.9	100.1	96.7	102.8	100.1	99.5
前月比	0.3	0.2	0.0	0.2	0.3	3.4	-0.1	0.5	0.0	1.1	0.4	0.5	0.4
前年同月比	0.7	1.9	1.5	4.9	0.4	-0.7	-0.9	-1.6	0.5	-0.9	-0.3	0.4	-0.2

(注)平成22年=100

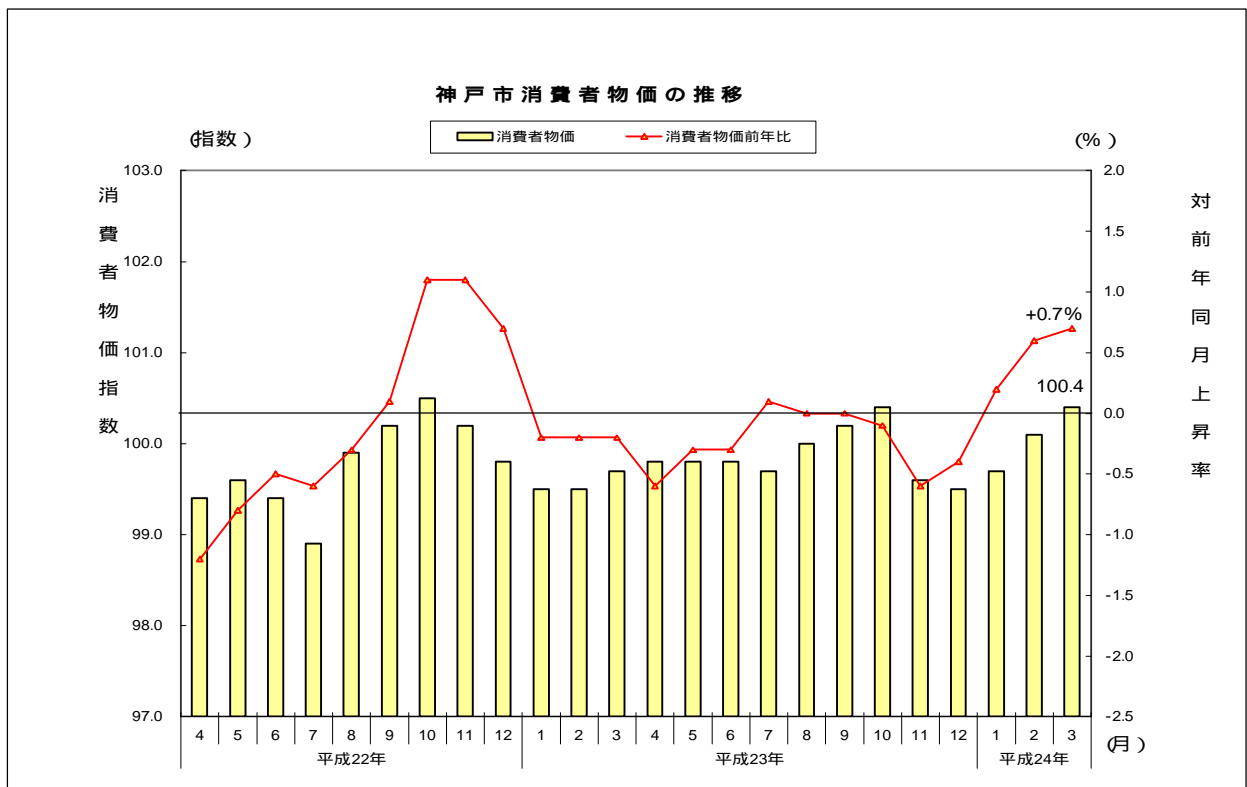
資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

衣料 (+ 7.4%)・・・男児ズボン、女児スカート
 教養娯楽サービス (+ 1.9%)・・・外国パック旅行、宿泊料

対前月比値下がりした主な品目

医薬品・健康保持用摂取品(0.8%)・・・はり薬、胃腸薬、目薬



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が4月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2012年3月の実績は次のとおり。

3月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	105.3	0.6	0.6
輸 出 物 価	86.2	3.6	0.1
輸 入 物 価	123.2	6.0	6.9

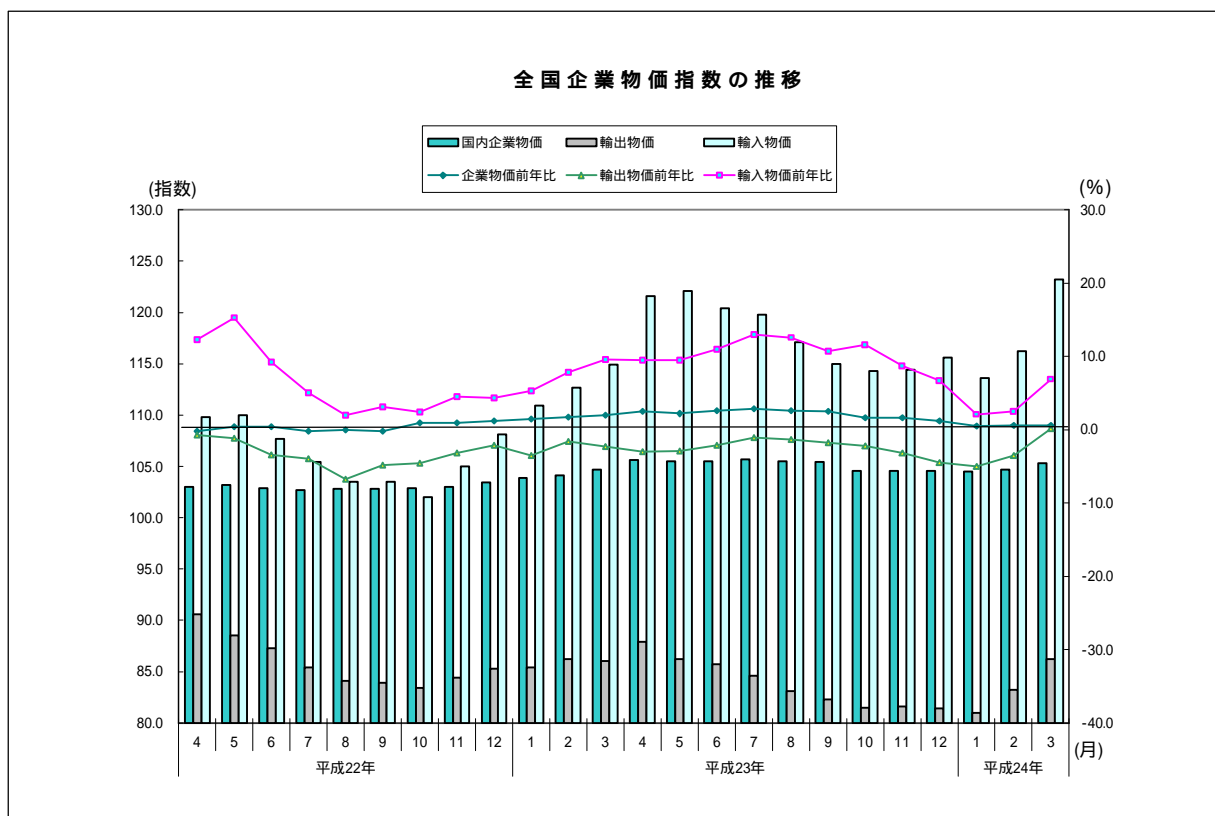
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、鉄鋼(前月比-0.8% <厚中板など>)等が下落したものの、石油・石炭製品(同+6.7% <ガソリンなど>)、スクラップ類(同+4.8% <鉄くずなど>)、非鉄金属(同+2.0% <銅地金など>)、化学製品(同+0.4% <ベンゼンなど>)等が上昇し、全体では前月比0.6%の上昇となった。

前年同月比では0.6%上昇し、前年比での上昇は18か月連続となった。
原油相場の高騰によるガソリンなどの値上がりが影響している。

輸出物価は、化学薬品(前月比+5.7% <パラキシレンなど>)、その他産品・製品(同+4.4% <C重油など>)、金属・同製品(同+4.0% <金地金など>)等が上昇し、円ベースでは前月比3.6%の上昇(前年同月比+0.1%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比+19.5% <原油など>)、食料品・飼料(同+9.8% <とうもろこしなど>)、金属・同製品(同+4.3% <鉄鉱石など>)、化学製品(同+3.8% <汎用プラスチックなど>)等が上昇し、円ベースでは前月比6.0%の上昇(前年同月比+6.9%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内2月の新規求人数(全数)は、26,496人(前年同月比7.2%増、前月比2.2%減)で、7か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は68,228人(前年同月比7.5%増、前月比5.5%増)で22か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比8.1%増で24か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.9%増で3か月連続で前年を上回った。また臨時・季節では同15.1%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比12.5%増)、情報通信業(同9.7%増)、運輸業、郵便業(同6.3%増)、宿泊業、飲食サービス業(同29.9%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同31.9%増)、医療、福祉(同17.7%増)サービス業(同4.1%増)は前年を上回ったが、製造業(同3.3%減)、卸売業、小売業(同1.8%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同16.6%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

2月の新規求職申込件数(全数)は、23,896件(前年同月比5.1%減、前月比1.3%減)で、6か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は95,362人(前年同月比5.2%減、前月比5.2%増)で21か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比6.6%減で6か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同1.5%減で6か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比82.6%増で3か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比3.3%増で6か月ぶりに増加した。事業主都合離職者は同10.2%減で26か月連続、自己都合離職者は同3.6%減で21か月連続、自営・他は同0.3%減で9か月連続、無業者は同23.3%減で2か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、24,730人(前年同月比0.4%減)で、24か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

2月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.07倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.66倍で前月を上回った。

(4) 失業者の状況

2月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.5%、完全失業者数(原数値)は289万人(前年同月比14万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.4%(前年同月より0.1ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は55万人(前年同月比2万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
24年2月	26,496	1,913	2,801	338	1,393	4,081	223	420	716	1,840	1,241	6,941	2,964
前年同月比	7.2	12.5	3.3	9.7	6.3	1.8	5.7	3.4	16.6	29.9	31.9	17.7	4.1

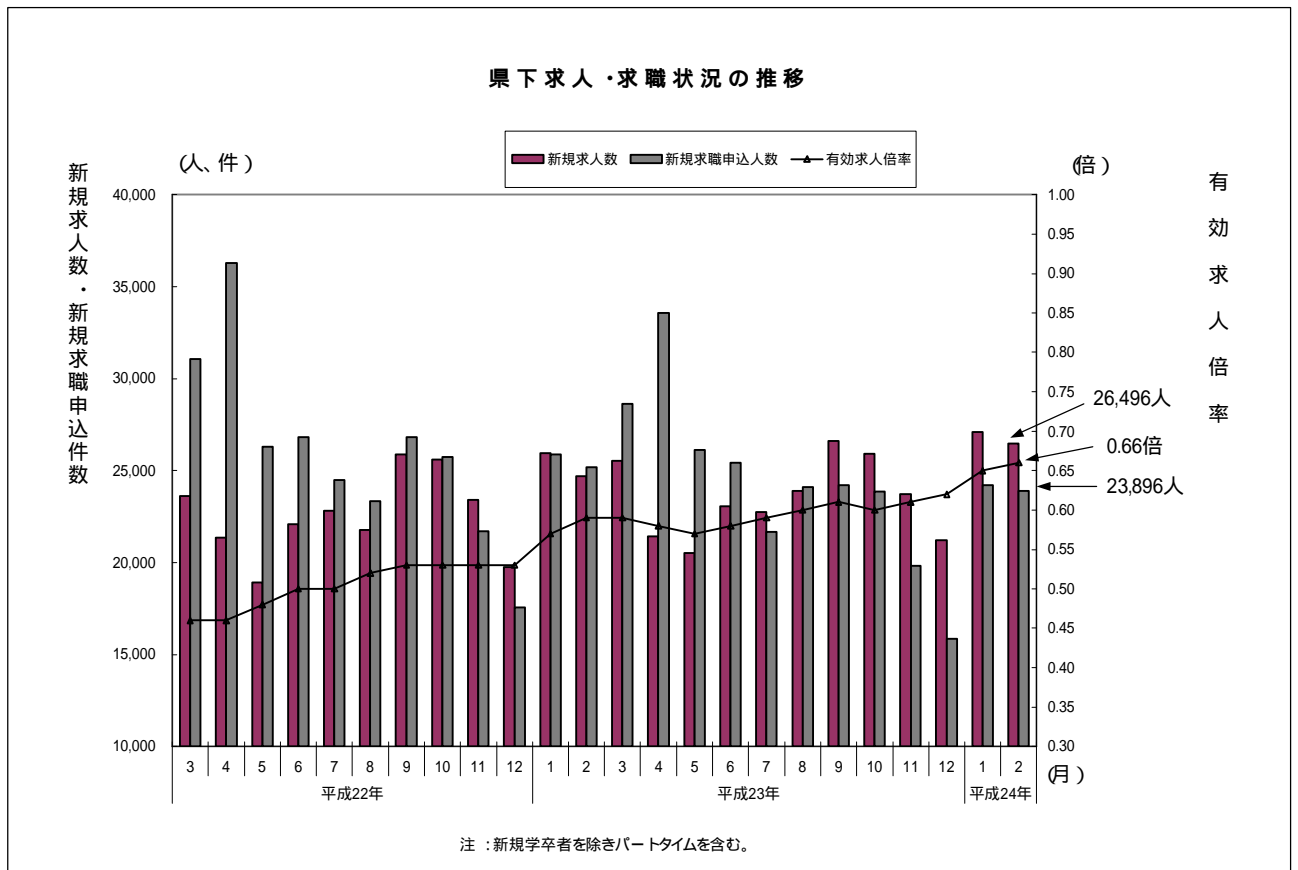
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項目・年月	11/1-3	11/4-6	11/7-9	11/10-12	11/12	12/1	12/2
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.58	0.58	0.60	0.62	0.63	0.65	0.66
新規求人数 (原数値、前年比%)	12.3	4.3	3.9	3.0	7.4	4.4	7.2
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	8.4	7.5	1.0	4.8	4.4	***	***
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	1.2	0.6	0.2	0.6	0.2	***	***
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	0.4	0.4	0.9	0.5	0.8	***	***

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

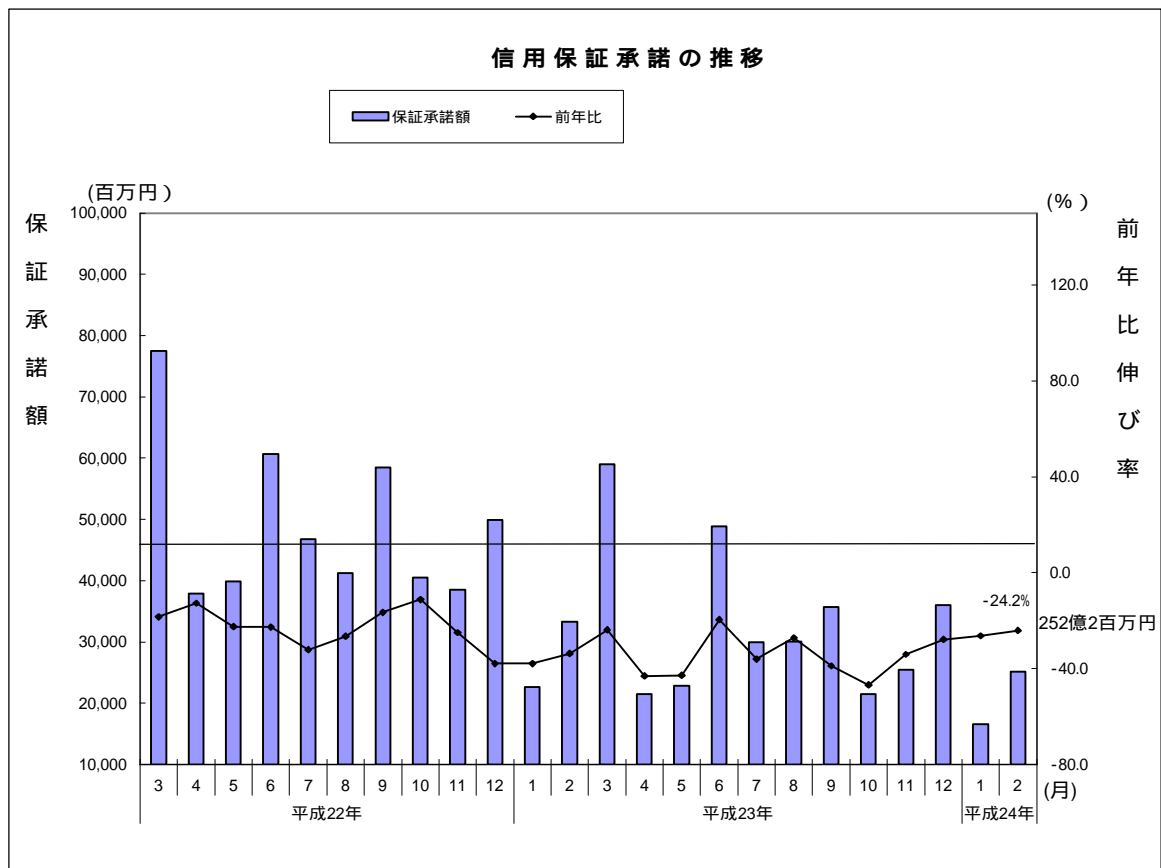
兵庫県信用保証協会による2月の保証承諾実績は、件数で1,752件(前年同月比18.7%減)、金額は252億2百万円(同24.2%減)となり、ともに28か月連続で前年実績を下回った。

リーマンショックを受けた資金繰り支援の緊急保証制度で、承諾が増加したことによる反動減に加えて、景気の先行き不透明感から、新たな借り入れを控えているとみられ、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「運送・倉庫業」1,549百万円(前年同月比15.8%減)、「建設業」6,680百万円(同16.8%減)、「サービス業」2,818百万円(同17.9%減)、「小売業」3,208百万円(同19.8%減)、「製造業」5,002百万円(同26.7%減)、「飲食店」560百万円(同27.5%減)、「卸売業」4,512百万円(同31.6%減)、「不動産業」802百万円(51.3%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、462件(前年同月比21.3%増)、52億37百万円(同13.1%増)となった。

2月末の保証債務残高は、114,270件(前年同月比3.1%減)、1兆3,576億円(同6.2%減)となった。



【金融】

1月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	139,697	1.5	55,064	3.7
地方銀行	23,715	1.2	19,612	1.9
第二地方銀行	30,982	1.6	19,568	1.4
信用金庫	78,872	1.1	38,185	0.6
その他	16,921	3.1	17,053	1.7
計	290,187	1.5	149,482	1.3

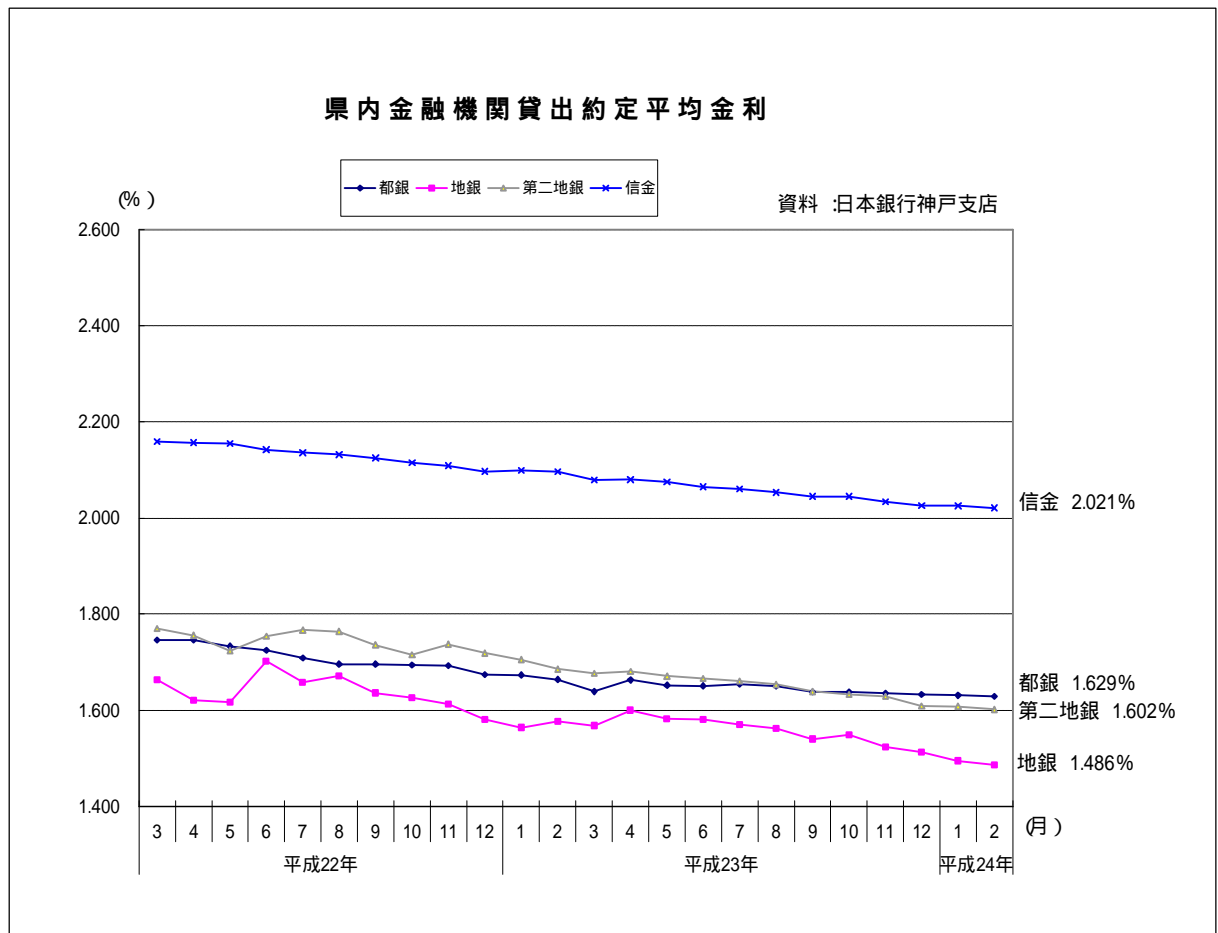
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

2月の預金は、前年を上回って推移している。

2月の貸出は、前年を下回って推移している。

2月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(2月末水準 1.744%、前月比 0.004%ポイント)。



【倒 産】

県内3月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は49件で前年同月比10.9%減少、負債総額は49億38百万円で同23.5%の減少となった。

倒産件数は前月比5件の減少となり、2か月連続で前月を下回った。

一方で負債総額は、3か月ぶりに100億円を下回った。

なお、東日本大震災関連の間接的な原因による倒産が2件発生した。

原因別(件数)では、販売不振が37件(全体の75.5%)と前月比2件の増加で当月もトップ。

2番目は赤字累積が6件、次いで過小資本が4件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は43件と前月比5件の減少ながら構成比は87.8%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス他業が15件(全体の30.6%)と最も多く、2番目は食品業が12件、次いで建設業が11件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」が20件でトップ、次いで「1千万円以上」が16件、「500万円以上」が6件となった。

「産業別」では、「サービス・他業」が13件でトップ、次いで「建設業」が11件、「卸売業」、「小売業」が各々9件となった。

日銀神戸支店が4月2日に発表した「管内金融経済状況」によると、「足踏み状態が続いている」と前回判断と同様基調に据え置いた。2月中旬以後、歴史的な円高基調から総じて円安へと転じており、また、日経平均も1万円台に乗るなどプラス要因が見られつつある。このなか、資金需要が高まる年度末の3月に兵庫県下の倒産件数及び負債総額が前月、前年同月比で共に減少したものの、未だ足元の景気動向は不安定要因が散見され、中小・零細企業を取り巻く環境の厳しさは変わらず、今後も引き続き「小口倒産」の多発が続くものと見られる。

3月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	1	5	-4	1	0	金属・機械・電気	7	3	4	2	5
過小資本	4	7	-3	4	0	化学・薬品	0	0	0	0	0
連鎖倒産	1	2	-1	5	-4	ゴム・皮革・ケミカル	0	2	-2	0	0
赤字累積	6	3	3	5	1	食品	12	7	5	15	-3
販売不振	37	35	2	35	2	建設	11	15	-4	13	-2
売掛金回収難	0	0	0	1	-1	不動産・サービス	15	9	6	16	-1
その他	0	2	-2	4	-4	運輸・通信他	4	18	-14	9	-5
合計	49	54	-5	55	-6	合計	49	54	-5	55	-6

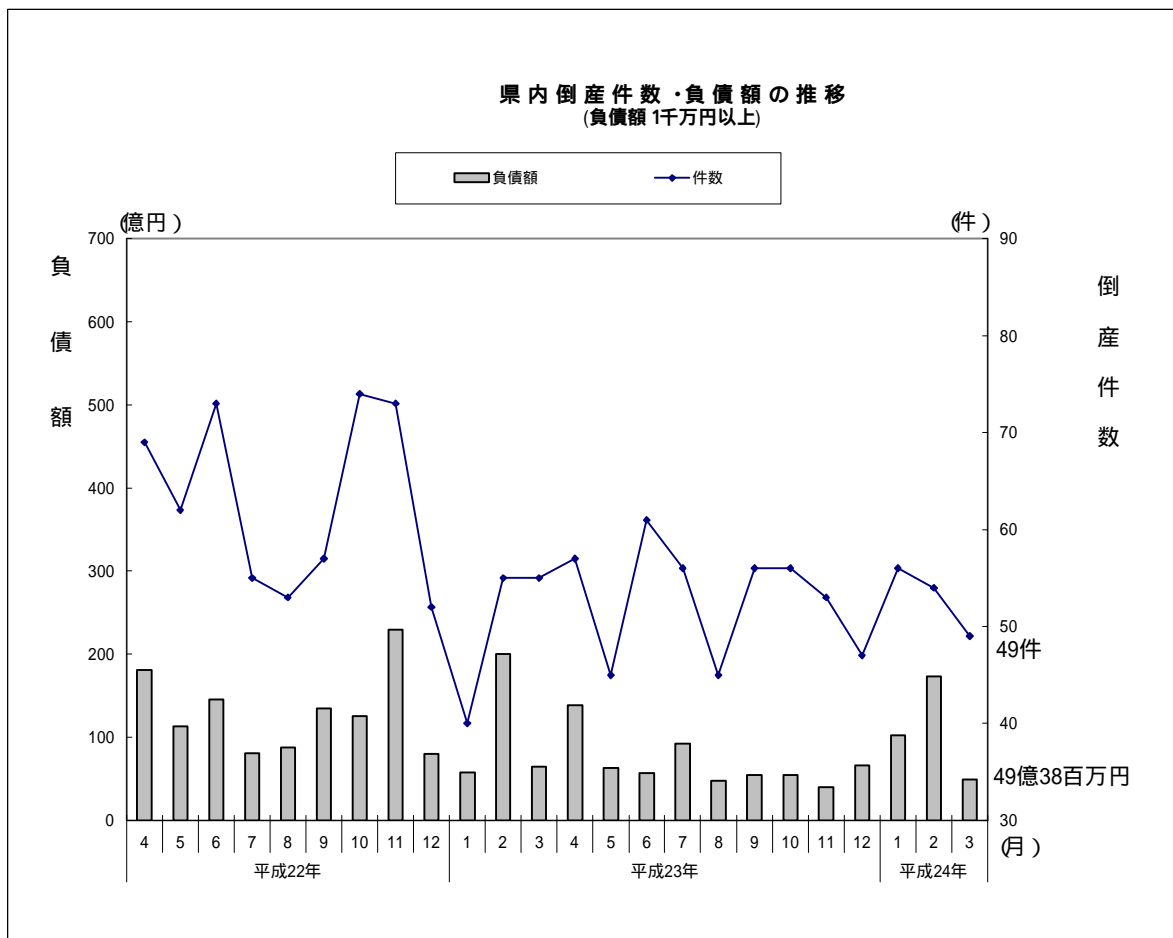
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額 1,000 万円以上)

(単位：件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 1月	56	14	19	6	9	3	0	5
24年 2月	54	17	23	5	2	4	1	2
24年 3月	49	15	23	0	9	1	1	0

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年 = 100)		全国 (12年 = 100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比
23年		%		%		%	%		%	%
1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	-24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
6月	102.1	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
7月	99.6	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2
8月	97.9	-1.8	93.6	0.6	181	-13.1	3.5	3,334	7.3	14.0
9月	94.9	-3.7	90.5	-3.3	267	-15.0	3.3	2,475	-12.7	-10.8
10月	97.2	1.5	92.5	2.2	229	-10.7	3.2	2,480	4.6	-5.8
11月	96.3	-0.9	90.1	-2.6	186	-26.6	6.8	2,703	7.2	-0.3
12月	96.5	0.2	93.4	3.8	182	-6.1	0.6	3,398	3.8	-7.3
24年										
1月	r 98.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
2月	p 97.7	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
3月					251	-27.6	8.0			
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
23年		%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8
6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	4,712	9.7	2,402	13.2
7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	4,615	-3.3	2,275	10.4
8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2	-2.1	4,244	4.2	2,417	14.2
9月	15,901	-2.7	-2.1	150	-5.7	-2.8	4,576	3.3	2,183	9.3
10月	12,206	26.2	27.5	175	-0.7	-0.8	4,476	-2.8	2,252	27.1
11月	13,092	30.5	25.1	185	-4.5	-2.2	4,184	2.2	2,345	17.5
12月	11,605	23.1	20.9	268	0.5	0.7	4,690	-2.8	2,150	4.7
24年										
1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	r 3,277	-10.3	r 2,318	5.8
2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	p 4,374	-1.9	p 1,794	-0.3
3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3					
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	96.5	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	96.7	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	98.5	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	98.3	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	97.2	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	97.5	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	97.5	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月	0.60	0.66	1,012	1.0	96.9	-0.8	100.0	0.0	99.9	0.2
9月	0.61	0.67	1,008	0.5	97.2	-1.1	100.2	0.0	99.9	0.0
10月	0.60	0.67	1,005	0.0	97.2	-0.9	100.4	-0.1	100.0	-0.2
11月	0.61	0.69	1,008	0.1	98.6	0.3	99.6	-0.6	99.4	-0.5
12月	0.62	0.71	1,007	0.3	97.2	-0.8	99.5	-0.4	99.4	-0.2
24年 1月	0.65	0.73					99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75					r 100.1	0.6	99.8	0.3
3月							p 100.4	0.7		
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	2.2	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	2.6	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	105.7	2.9	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	105.5	2.6	149,665	-0.7	1.496	45	47	15	9	21
9月	105.4	2.5	150,667	-0.6	1.473	56	55	17	22	17
10月	104.6	1.7	149,677	-1.1	1.474	56	55	19	17	20
11月	104.7	0.0	150,005	-0.4	1.469	53	40	19	17	17
12月	104.6	1.2	151,631	-0.6	1.452	47	66	8	19	20
24年 1月	104.5	0.5	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	r 104.7	0.6	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	p 105.3	0.6				49	49	15	23	11
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値